

町政報告事項（令和6年3月）

○故荒木泰臣氏「偲ぶ会」について

荒木前町長とご縁があった多くの方々にお集まりいただき「偲ぶ会」が、熊本県町村会主催で、2月25日(日)、グランメッセ熊本で行われ、250人の方々が最後のお別れをされました。

会場には、町から荒木前町長に贈った「名誉町民章」や功績を紹介するパネルなどが展示されました。また、多くの方々から贈られた供花も供えられました。

一般献花では、嘉島町民や、ゆかりのある人たち550人が花を供えられ別れを惜しまれました。式典には全国から各界の700人が参列され、代表して坂本農林水産大臣や蒲島県知事がお別れの挨拶をされました。

最後に遺族を代表されまして、妻の律子さんが「皆様方からの生前のご厚情に深く感謝申し上げます」とお礼の言葉を述べられました。

○令和6年度予算について

本定例会に提案しております一般会計の来年度予算は、総額84億4千2百万円となっており、今年度の一般会計と比較して30%増の約20億円上回る予算規模となっております。

歳入につきまして、自主財源である町税を、昨年度比3%増の5千万円増で、18億2千8百万円計上しておりますが、定額減税が予定されていることから、前年度並みの収入額が見込まれます。また、繰入金を昨年度比106%増の10億円としております。

一方、依存財源である国県支出金及び町債が増加したことにより、自主財源の割合が2.5%減少しております。

歳出においては、学校教育環境の整備に加え、行政サービスの質を向上するための予算を計上しております。代表的な事業としましては、嘉島東小学校校舎増築事業に15億880万7千円。嘉島東部台地土地区画整理事業に3億2千28万9千円。嘉島中学校エレベーター一棟増築工事等に1億9千3百53万9千円。嘉島西小学校エレベーター一棟増築工事に6千7百22万4千円が挙げられます。

来年度は、普通建設事業費の増加、昨今の物価高騰等の影響により、非常に厳しい財政運営が予想されますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

○能登半島地震に伴う人的支援について

熊本県は、被害が甚大な石川県輪島市に対口支援することになりました。嘉島町は、第1陣の1月から町職員を交代で派遣しており、現地では住宅の被害調査にあたっています。各陣の期間は9日間で、2月末までに5人派遣し3月は4人派遣します。その後も必要に応じて積極的に支援していきます。

いぜん道路状況が悪く、宿泊施設から現地まで車で3時間以上かかることもあり、毎日朝6時に出発しています。派遣された職員は、「熊本地震よりも被害が大きく、復旧には時間がかかりそう」などと話しています。

○物価高騰対応重点支援交付金（低所得世帯支援枠）について

物価高による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）に対し、1世帯あたり7万円を支給する「物価高騰対応重点支援交付金」の初回振込みを令和6年1月31日に行い、これまで831世帯、5千8百17万円の振込が完了しています。

○戸籍証明書の広域交付について

令和6年3月1日に改正戸籍法が施行され、本籍地でなくても戸籍証明書及び除籍証明書を取得できるようになりました。

嘉島町に住んでいるけど本籍地が遠くにある方、欲しい戸籍の本籍地が全国各地にある方も、嘉島町の窓口でまとめて請求可能となります。

○嘉島西小学校体育館クラブハウス改修について

嘉島西小学校学童の利用者が急激に増加する見込みで、現状の4クラスでは定員超過となるため、今月中に新たに嘉島西小学校体育館クラブハウスを改修して、5クラス目の学童施設を設置いたします。

○通学路の点検について

通学路安全推進会議を1月18日に開催し、小中学校通学路の合同点検を行い、学校、PTA、道路管理者、御船警察署など関係機関との間で、危険・要注意箇所の確認と安全対策を協議しました。

また、御船警察署に以前から横断歩道の設置を要望していました、ドラッグストアモリ前の町道と松前重義記念館前の町道が交わる交差点(通称:中津交差点)に横断歩道が設置され、2月16日から使用できるようになりました。

○上益城5町のごみ処理施設について

ごみ処理施設の整備・運営を目指す民間事業者「株式会社シムファイブス」において現在、熊本県環境影響評価条例に基づき、ごみ処理施設建設における環境アセスメントが実施されております。

また、方法書に基づく大気環境や水環境などの現地調査を令和6年1月から約1年間かけて実施され、令和7年6月頃に準備書が公開される予定となっております。

これからは、令和8年3月までに環境アセスメントが完了し、事業計画が適切であると判断できれば、改めて上益城5町等と事業者が環境保全協定及び立地協定等を締結し、各法令の許可手続きを経て土地の造成、施設の建設を行う予定となっております。

今後も各関係機関との協議や調整を行い、事業の進捗など随時情報発信しながら事業を進めて参ります。

○東部台地土地区画整理事業「ゆうすいの杜」の進捗状況について

現在、次期工区（1-1工区）の換地設計を行っており、5月末までに完了する予定です。その後、地権者等への周知説明等を経て、令和6年度中に造成工事に着手する予定です。また、現在進めております1-2工区におきまして、8区画の保留地が完成をいたしました。この8区画につきましては、町民向けの保留地として町民の方を優先して譲渡いたします。価格と抽選方法を3月中に決定し、4月の広報誌折込みチラシにて周知する予定であります。

○企業誘致について

昨年12月以降に3件の立地協定を締結しました。

上仲間に進出する「水光商事」は、ウォーターサーバーなどの取水施設として今年9月ごろに操業開始予定です。

下仲間に進出する「フレッシュ青果」は、野菜や果物などの卸売業で今年6月ごろ操業開始予定です。

上仲間に進出する「尾家産業」は、食品卸売業で今年の11月ごろ操業開始予定となっております。

企業の進出は、産業の振興や雇用の創出につながりますので、今後も企業誘致を進めてまいります。

○消防団出初式並びに消防点検の開催について

令和6年3月3日(日)中学校グラウンドにおいて、5年ぶりに、議員の皆様をはじめ来賓の方々を案内しての開催となりました。清村団長以下、202名の団員が出動して、通常点検、小型ポンプ操法競技など繰り広げ、日頃の訓練の成果を競いました。

操法競技の部の優勝が第1分団第1部(井寺)でした。7月に山都町で行われる郡操法大会には、第1分団第1部(井寺)及び第2分団第3部(西村)が町の代表として出場されます。

○社会教育関係イベントについて

1月7日に町民会館ホール「アクア」にて二十歳を祝う会が開催され、72名の参加がありました。

2月11日に開催されました第50回都市対抗熊日駅伝大会に本町から2名の選手が出場しました。上益城郡チームの一員として力走をみせました。